

高橋哲郎家文書目錄

高橋哲郎家文書 解題

高橋哲郎家文書二十四点は、神奈川県鎌倉市在住の高橋哲郎氏の所蔵文書である。高橋哲郎家は和歌山市木ノ本の旧家で、平成五年度に寄託を受けた高橋家（ビタミンA抽出に初めて成功した高橋克己の生家、収蔵史料目録3『高橋家文書目録』参照）とも遠戚関係にある。

寄託を受けた文書は、高橋哲郎家の屋敷を取り壊したときに、同家をよく知る垣内茂氏に取り分けて保管されていたものである。そのため、文書の保管状況や、寄託文書以外の資料があったのかどうか詳細

は不明である。寄託時には紙の継ぎ目がはがれた状態であったが、文字のつながりや裏判を検討して、出来る限りもとの状態に復元した。文書の内容は、大部分が江戸時代の本銀返し証文だが、三点の中世文書、天文九年（一五四〇）の下地売券（資料番号1、写真）、享祿二年（一五二九）の住寺銭譲状（資料番号2）、正平二年（一三四七）の置文（資料番号3）が注目される。しかし、高橋家にこの中世文書が残された経緯はよく分からない。

*解題・目録 伊藤信明



天文9年（1540）の下地売券
資料番号1

高橋哲郎家文書目録

資料番号	題	年 月 日	作 成 者	宛 名	態 形
3	〔鳴神菊女等置文〕 *端裏「台文書」	正平2年8月3日			状
2	〔城福寺住寺錢讓狀〕	享祿2年乙丑8月10日	城福寺靈興（花押）	源内殿參讓狀	状
1	永代売渡申下地之事	天文9年庚子2月11日	売主太五郎の後家妙玄 證 人冷水吉久（花押）	買主源内大夫方へ参	状
19	差上ケ申家之事（借用筋五百目精算のため）	寛文元年酉7月	源右衛門後家（印）源「（破れ）」	勘兵衛	状
11	本銀返証文之事	享保14年酉11月	木本村本人長三郎（印）同村証人善八（印）、ほか御蔵庄屋・同肝煎・庄屋・肝煎連署印	木本村勘兵衛	状
12	本銀返シ証文之事	享保19年寅極月	木本村本人十次郎（印）同村証人清左衛門（印）、ほか株庄屋・庄屋・肝煎連署印	木本村買主勘兵衛	状
8	本銀返シ証文之事	元文元年辰極月	木本村本人助之丞（印）同村証人源助（印）、ほか御蔵庄屋・同肝煎・庄屋・肝煎連署印	木本村勘兵衛	状
14	本銀返証文之事	元文4年末11月	木本村本人与兵衛（印）同村証人伝六（印）、ほか御蔵庄屋・同肝煎・庄屋・肝煎連署印	木本村買主勘十郎	状
6	本銀返証文之事	延享2年丑9月	木本村本人与七郎（印）同村証人伊兵衛（印）、ほか株庄屋・御蔵庄屋・同肝煎・庄屋・肝煎連署印	木本村買主勘十郎	状
4	本銀返証文之事	延享2年丑ノ12月	木本村本人藤兵衛（印）同村証人太兵衛（印）、ほか御蔵庄屋・同肝煎・庄屋・肝煎連署印	木本村買主勘十郎	状
5	本銀返証文之事	延享2年丑12月	木本村本人源五郎（印）同村証人喜兵衛（印）、ほか御蔵庄屋・同肝煎・庄屋・肝煎連署印	木本村買主勘十郎	状
16	請取申銀子之事（田地売り）	寛延2年巳11月	榎原村本人吉左衛門（印）、ほか木本村御蔵庄屋・同肝煎・庄屋・肝煎連署印	木本村勘十郎	状

24	23	21・22	20	18	10	15	9	17	7	13
〔断簡〕	〔封筒〕	〔小包封紙〕 * 21・22は一連のもの	御尋ニ付申上候口上（御蔵百姓出来米借銀方に遣わす件お尋ねにつき返答書）	〔田地返しの条件につき奥書〕	本銀返証文之事	本銀返シ証文之事	本銀返シ証文之事	請取申銀子之事（田地売り）	本銀返証文之事	本銀返証文之事
			卯10月	子極月	宝暦9年卯10月	宝暦7年丑極月	宝暦6年子11月	宝暦6年子4月	宝暦5年亥11月	宝暦4年戌霜月
		尾張国熱田町大字向白鳥妙覚寺安井斎環	木本村御蔵庄屋勘兵衛	太郎（印）同源八（印）同弥	木本村本人品川仁菫（印）同村証人半五郎（印）、ほか御蔵庄屋・同肝煎・庄屋・肝煎連署印	木本村本人善五郎（印）同村証人喜兵衛（印）、ほか御蔵庄屋・同肝煎・庄屋・肝煎連署印	木本村本人庄三郎（印）同村証人三右衛門（印）、ほか御蔵庄屋・同肝煎・庄屋・肝煎連署印	木本村本人清介後家（印）西庄村証人勘六（印）木本村庄屋惣兵衛（印）同村肝煎七兵衛（印）	木本村西報寺（印）同村証人清兵衛（印）、ほか御蔵庄屋・同肝煎・庄屋・肝煎連署印	木本村本人利兵衛（印）同村証人太兵衛（印）、ほか御蔵庄屋・同肝煎・肝煎連署印
		衛門 木本村大字小屋井上喜右	貴志市左衛門		木本村勘三郎	木本村勘十郎	木本村勘十郎		木本村勘三郎	木本村買主勘十郎
状	封筒	紙封	状	状	状	状	状	状	状	状